

1	事業名称	信州高遠ボランティア養成研修				
2	新規・継続	継続	10年目			
3	趣 旨	青少年自然の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における子どもたちの体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	5月26日(土)	～	5月27日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	30人				
7	共催・協力・後援	後援：長野県教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会				
8	参加者人数	42人				
9	参加者類型	高校生1人・大学生39人・社会人2人				
10	参加者地域	長野県23人、新潟県14人、埼玉県2人、千葉県1人、東京都1人、神奈川県1人				
11	参加者分析	・参加者42名中、地元からは信州大学教育学部の学生が21名、長野県内の高校生1名、長野県内の社会人1名、県外は上越教育大学から14名、亜細亜大学から3名、明治大学から1名、県外の社会人1名の参加があった。近年参加申込みがあったいくつかの大学から申込みがなかったため、これまでの参加大学へ早めの広報を行う必要がある。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		71.4%	28.6%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアに対する認識が変わった。</li> <li>・いろいろな視点からボランティア活動を見つめることができた。</li> <li>・初めて救急方法について学び、知らないことばかりだった。緊急な時、自ら進んで命を救いたい。</li> <li>・色々な各地域の人たちと関わって、価値観も違い、また新たな考え方も知ることができ、自分自身に良い刺激になった。人と関わることで視野が広がると思いました。</li> </ul>				
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義や体験活動を通して、ボランティア活動の意義や、青少年教育施設における活動を支えるボランティアとして必要な知識や技術を伝えることができた。</li> <li>・小グループに分け、スタッフを一人配置することにより、参加者同士の結びつきが強くなり、今後のボランティア活動への参加意欲向上につながった。</li> <li>・継続ボランティアが、事前の打ち合わせ含め、事業に企画の段階から参加し、講義の一部分を担当することで、企画力・実践力を高めることができた。</li> </ul>				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に施設の事業に参加するボランティアを確保するためにも、柔軟なボランティアの受け入れ体制を整える必要がある。</li> <li>・意識の低い参加者も見られ、研修に必要なものを持参しない学生がいた。これまで以上に事前の案内を徹底しなければならない。</li> <li>・直前のキャンセルが多数あったため、事前に大学と密に連絡を取り合うことが必要である。</li> </ul>				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り体験活動を行う時間を多く取ることで、参加者が受身の研修にならないことが出来た。</li> <li>・各班のスタッフと参加者がともに活動することで、施設職員や継続ボランティアと参加者とのよりよい関係を築くことが出来た。</li> <li>・継続ボランティアが「ボランティアの意義」の時間において、自らの実体験に基づいた話をしたことが、アンケートの結果や参加者の話からも非常に好評であった。</li> </ul>				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考（講師等）
1日目		
10:45～11:00	開講式	
11:00～12:00	講義Ⅰ「青少年教育施設の現状と運営」	国立信州高遠青少年自然の家 次長 松崎順平
13:00～14:00	実習Ⅰ「アイスブレイクの理解と実際」	国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員
14:00～15:20	実習Ⅱ「施設内オリエンテーリング」	国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員
15:20～19:30	実習Ⅲ「野外炊飯」	国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員
19:30～21:00	講義Ⅱ「ボランティア活動の意義」	国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員 法人ボランティア
2日目		
8:30～9:00	実習Ⅳ「施設の教育機能の役割」	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職 事業推進係員
9:00～12:00	実習Ⅴ「一般救急講習会」	日本赤十字社長野支部救急救命派遣講師
13:00～14:30	講義Ⅲ「青少年教育施設の理解」	国立信州高遠青少年自然の家 所長 山本裕一
14:30～15:00	実習Ⅵ「ふりかえり」	国立信州高遠青少年自然の家 事業推進係員
15:00～15:20	閉講式	

17



実習「野外炊飯」



実習「アイスブレイクの理解と実際」



実習「一般救急講習会」



「閉講式」(終了証授与)